

第4回観測データ利活用検証WGの報告

令和3年9月29日
観測データ利活用検証WG 主査

令和2年9月30日に開催された第10回ビッグデータ連携会議で観測データ利活用検証WGを設置。以降、JAXAの地球観測衛星データを活用したSDG指標の検証を実施。昨年度、観測データ利活用検証WGを3回開催し、SDG15.4.2(山地グリーンカバー指数)の検証を終え、今年度はSDG11.3.1(人口増加率と土地利用率の比率)の検証を実施。

令和3年8月4日に開催した第4回観測データ利活用検証WGにおける主な意見と対応の方向性は以下の通り。

① 社会的環境を踏まえた適正指標

- ・建築物の高さや階数と言った情報を加味した指標の開発が必要

⇒損害保険会社の火災保険のビッグデータを活用することで解決できる可能性がある

② 指標の対象範囲の設定

- ・まずは小さな単位での検証を実施後、都市へ拡大

③ 検証方法

- ・3次メッシュ統計での国勢調査人口と、3次メッシュレベルの土地利用比率をJAXAの衛星データ(メッシュ内のピクセル毎の都市や農地などのカテゴリ選別)を用いて算出する